

【ふるさとへの貢献心を育む】

北陸新幹線芦原温泉駅の建設工事也大詰めを迎え、駅舎とそれに隣接する賑わい施設のだいたいの姿が見えてきました。生徒たちの目にはどのように映っているのでしょうか。

さて、年末にあわら市観光振興課の職員が校長室に来校されました。内容は、3月19日(日)に開催される「アフレア」オープニングイベントについて、金津中学校の生徒に企画と運営をお願いできないかという話でした。もちろん、私は協力する事には異論はなかったのですが、ご存じの通り金津中学校では、学校行事の多くを生徒が主体に行っていますので、この依頼についても生徒の判断に任せようと思いました。

年が明けた1月12日に、改めて観光振興課の職員から1学年の生徒に説明をしてもらう時間をとりました。(1年生を対象としたのは、2年生は3月13日~15日にかけて修学旅行を計画しているからです。)依頼は2つで、1つ目は中央公民館において実施する「親子連れ対象イベント」の企画運営、2つ目はアフレアのステージイベントで「ウェルカムダンス」です。

市職員からの「あわら市の将来を担うみんなに、みんなの力をぜひ貸してほしい」という呼びかけを受け、学級や学年での話し合いをした結果、「何十年かに1回のあわら市のイベントだから、自分たちも積極的に盛り上げたい」ということになりました。今後、このイベントを運営する事業部の方との話し合いに、生徒たちのアイデアも示していきながら準備を進めていく予定です。

本校では、教科の学習で頑張ることはもちろんですが、こういった体験活動も大事にするため「あわら考幸学」に取り組んでいます。その活動の特長は、教師が計画し教師に指示されて活動するのではなく、課題の設定から解決まで自分たちで考えて取り組むことにあります。このことにより、将来社会人として必要とされる問題解決力を育てたいのです。併せて、「ふるさとあわら市のために」自分たちができることは何かを提案したり行動したりすることにより、ふるさとあわら市に愛着と誇りを持つようになると思います。さらには、人のために自分たちが主体的に考えることは、道徳でいう「貢献する心」を育むことにもつながります。生徒たちがどのように考え行動してくれるのか楽しみで仕方ありません。

